

資料 1

A 特許出願例

(1) 特開平 1 1 - 2 0 3 3 5 9 号 (富士写真フィルム) (平成 1 7 年 (行ケ) 1 0 4 3 0)

【請求項 1】

「ネットワーク上で画像を公開することにより、前記画像を使用する各種サービスを提供するネットワークフォトサービスシステムであって、

複数の画像を記憶する画像記憶手段と、予め登録された画像グループの名称、および前記画像記憶手段に記憶された画像をネットワーク上で閲覧可能にすることにより、サービス利用者が前記閲覧可能な画像の中から前記各画像グループに所属せしめる 1 つまたは複数の画像を選択できるようにする画像選択手段と、

前記画像グループの名称と、該画像グループに所属せしめる画像として選択された画像との対応関係を記憶することにより画像グループを管理する画像グループ管理手段と、

サービス利用者により画像グループの名称が指定された際に、記憶された対応関係に基づいて、前記画像記憶手段に記憶された画像のうち指定された名称の画像グループに所属する画像のみをネットワーク上で閲覧可能にするグループ画像公開手段と

を備えたことを特徴とする ネットワークフォトサービスシステム。

(2) 特表 2 0 0 3 - 5 1 5 3 0 7 号 (ユナイテッド・バーチャリティーズ・米国)

【請求項 1】

「グラフィカルユーザインタフェースを有するオペレーティングシステムのもとでアプリケーションプログラムを実行しているコンピュータシステムの表示画面上にアプリケーションプログラムにより生成された 画像をモディファイする方法 であって、コンピュータユーザが予想できない態様で画面上に割り込んで出現し、完全にユーザの制御外にあるマルチメディアアニメキャラクタを画面に導入するステップを含むことを特徴とする方法。」

(3) 特開 2 0 0 2 - 1 6 3 5 2 9 号 (カーファクトリーロジカル)

(平成 2 1 年 (行ケ) 1 0 1 9 2)

【請求項 2 0】

「コンピュータを用いて複数の特定日又は複数の特定期間において売買された全商品の総合計金額に対しての値引額を算出し、前記値引額を値引きする値引きサービス方法であって、前記コンピュータが、売買データを読み出して予め設定された複数の特定日毎又は複数の特定期間毎の合計金額を算出し、前記コンピュータが、算出された前記各

合計金額の中から最も額の低い金額を検索し、前記コンピュータが、前記最低金額に相当する金額を基準にして売買が行なわれた日数に応じて値引額を算出し、前記コンピュータが、前記値引額を出力することを特徴とする、値引きサービス方法。」

(4) 特開 2003-296587 号 (ヤッパ)

【請求項 1】

「広域ネットワークを介して絵画等の美術品の画像をユーザー端末へ配信するバーチャル美術館システムであって、広域ネットワーク上に不特定多数のユーザーを対象に双方向型の Web 3D 画像による美術品の閲覧を受付ける Web サーバーと、前記 3D 画像による美術品を展示するバーチャル美術館を 3D 画像により構築するバーチャル美術館開設手段と、前記美術品およびバーチャル美術館の 3D 画像を格納する 3D 画像データベースと、前記バーチャル美術館の 3D 画像ファイルを転送する FTP サーバーと、顧客からの注文を受付けて顧客登録データベースに登録する受注登録手段と、前記受注登録手段により受付けた注文美術品を配送する商品配送手段と、販売した美術品の代金をクレジットカード、電子マネー等により徴収する課金手段と、前記 3D 画像データベースおよび顧客登録データベースを管理するデータベースサーバーとを有することを特徴とする 3D 画像による バーチャル美術館システム。」

(5) 特開 2002-123683 号 (USB AG・スイス)

【請求項 1】

「交換取引アイテムの 1 次トランザクションに関連する 通貨交換レート のリスクをヘッジするためのコンピュータシステムにおいて、トランザクション値を有する 1 次トランザクションを実行する手段と、通貨交換レートを受信する手段と、少なくとも通貨交換レートと、ヘッジ期間と、トランザクション値またはトランザクション値の一部に基づいてヘッジ価格を決定する手段と、少なくともヘッジ価格を有するヘッジオファーを出力する手段とを具備しているコンピュータシステム。」

(6) 特開 2002-157511 号 (NTT)

【請求項 1】

「複数の地域において飛散する花粉量を検出して複数の地域の花粉量情報を生成し、この生成された複数の地域の花粉量情報を通信手段を介して収集し、この収集した複数の地域の花粉量情報に対して地域毎および時間毎の積分処理および平均化処理を含む統計的な情報処理を行ない、この情報処理した花粉量情報を前記検出した生の花粉量情報とともに花粉情報データベースに蓄積し、この蓄積した花粉量情報を通信手段を介して提供することを特徴とする 花粉情報提供方法。」

(7) 特開 2003-228658 号 (個人) (平成 19 年 (行ケ) 10327)

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

「商品の販売元が商品カタログによる宣伝をインターネットを介して行い、消費者が自己のパソコンのモニタに表示された商品カタログの中から購買希望の商品を見つけて、販売元に注文して購入するインターネット情報通信システムによる商品の販売方法であって、

先ず商品の見本画像に公知の基準色画像を添付表示した商品カタログを作成して、インターネットを通じて宣伝し、消費者は自己のパソコンのモニタを介して、商品カタログに表示された基準色画像対応デジタル画像の色と自己が所有する基準色画像の色を比較することによってモニタ表示の商品のデジタル画像の色がインターネットによる情報伝達によって変化した状態を認識し、

この認識に基づいて商品の色品質を確認して商品を発注することを特徴とするインターネット情報通信システムを介した商品の販売方法。」

B 特許例

(1) 特許第 4331794 号 (ロイターズ・英国)

【請求項 1】

「相対当事者の間で取引を行う照合コンピュータと、複数のユーザに対応し、上記ユーザが、買いの申込または売りの申込についての値段、量、満了期間または信用情報の少なくとも 1 つを含む確定的な取引パラメータをシステムに入力することを可能にさせる遠隔端末と、上記遠隔端末と上記照合コンピュータとの間で通信を可能にさせる通信ネットワークとからなる交渉照合システムであって、

上記照合コンピュータは、

上記確定的な取引パラメータに基づいて、上記遠隔端末を介して上記入力を行ったユーザの中から潜在的な取引に関する潜在的な相対当事者を識別する検出システムであって、上記確定的な取引パラメータは、少なくとも買いの申込または売りの申込についての値段を含み、上記識別は、上記潜在的な相対当事者に対して匿名で行われる検出システムと、上記検出システムにより識別された上記潜在的な相対当事者に、この者達が潜在的な取引の可変的な取引パラメータを交渉することを開始できるように以前は匿名であった上記潜在的な相対当事者の身元を上記潜在的な相対当事者に明らかにすることを含む、上記潜在的な取引の通知を行う通知システムと、

上記潜在的な取引のための上記可変的な取引パラメータを交渉するため、上記検出システムにより検出された上記潜在的な相対当事者の間で通信が行えるようにする通信許可システムと、

上記可変的な取引パラメータが上記遠隔端末を介して上記潜在的な相対当事者から受けられたとき、上記潜在的な取引のための処理を実行し、上記潜在的な相対当事者が上記可

変的な取引パラメータに関して合意に達しないとき、上記潜在的な取引を取り消す処理を行う取引実行システムとにより構成されることを特徴とする交渉照合システム。」

(2) 特許第 4 3 0 2 9 6 3 号 (コナミデジタルエンタテインメント)

【請求項 1】

「天気に関する少なくとも一つの出力対象データの候補を、予報の確度を表す確率データ値の所定のデータ範囲と、現在日時から見た過去の時間帯を表す複数の時間区分のいずれかと、に対応づけて記憶する出力対象データ記憶手段と、

少なくとも一つの地域に関する予報の確度を表す確率データ値を含む天気予報情報を取得し、当該取得した天気予報情報を、当該天気予報情報の予報対象となる時間帯を表す予報天気日時情報と対応づけて記憶する天気予報情報記憶手段と、

前記記憶している、過去の天気に関する天気予報情報のうち、仮想コミュニケーション端末装置に係る位置情報に対応する地域に関する天気予報情報について、現在日時の情報と、当該天気予報情報に対応づけられた予報天気日時情報とに基づいて、当該天気予報情報に対応する時間区分を決定し、当該天気予報情報に含まれる確率データ値を参照し、当該確率データ値が前記決定した時間区分に対応づけて前記出力対象データ記憶手段が記憶している前記データ範囲に含まれる場合に、前記決定した時間区分及び当該データ範囲に対応づけられた前記出力対象データの候補から少なくともいずれか一つを選択し、当該選択した出力対象データを出力し、当該確率データ値が前記決定した時間区分に対応づけて前記出力対象データ記憶手段が記憶している前記データ範囲に含まれない場合には、前記出力対象データの候補の出力を制限する会話処理実行手段と、

を有することを特徴とする仮想コミュニケーションシステム。」

(3) 特許 4 2 9 9 4 4 7 号 (IBM)

【請求項 1】

「複数のコンピュータ端末が接続されるネットワークにおいて、ワークフローに従って当該コンピュータ端末を利用する担当者間で当該ネットワークを介したデータの受け渡しを行うワークフローシステムであって、

前記コンピュータ端末に割り当てられる処理として、プロジェクト型の配列変数を指定させることが可能であり並列経路を多重化して扱うノードと、当該ノードの処理順を決定するためのパスとを定めたワークフロー定義および当該ワークフロー定義で参照されるデータ定義からなるプロジェクトを記憶する記憶手段と、

前記記憶手段に記憶された前記プロジェクトを読み出し、読み出された当該プロジェクトを用いて前記ワークフローの業務単位であるプロセスを作成して、前記コンピュータ端末に対して処理を割り当てる管理手段と、を備え、

前記記憶手段に記憶される前記プロジェクトにおける前記データ定義では、データとし

てプロジェクト型およびその配列が定義されることを特徴とするワークフローシステム。」

(4) 特許第 4 2 7 8 8 8 1 号 (朝日生命保険相互会社)

【請求項 1】

「保険契約を管理するための保険契約管理システムであって、
同一保険契約者についての複数の保険契約に関する情報を同一保険契約者毎に複数の保険契約について前記複数の保険契約の各々を特定する保険契約番号を用いて関連付けるための関連付け手段と、

前記複数の保険契約の特定された保険契約者の銀行口座を特定するための保険契約者口座番号、前記保険契約者口座番号で特定される銀行口座から定期的に口座振替が行なわれると共に前記関連付けられた複数の保険契約に関する資金を同一保険契約者毎にまとめて管理するために設けられた仮想口座を特定する仮想口座番号、前記保険契約者口座番号で特定される銀行口座から前記仮想口座へ定期的に口座振替を行なう口座振替金額、前記保険契約番号、前記保険契約番号で特定される保険契約に対応する引去保険料に関する引去保険料情報、及び、前記仮想口座で管理されている資金の保険契約者毎の残高に関する残高情報を有する仮想口座データを、保険契約者毎に記憶した記憶手段と、

前記保険契約番号で特定される保険契約の各々について、前記残高情報の残高と前記引去保険料情報の引去保険料とを比較し、前記残高が前記引去保険料よりも大きい場合にのみ前記残高から前記引去保険料を減じると共に、前記仮想口座から保険会社の保険料徴収用に設けられた保険料徴収用口座へ前記保険契約毎に順次前記引去保険料の振替処理を行なうための保険料徴収用銀行口座番号及び前記引去保険料に関する情報を含む振替案内データを作成する保険料引去手段と、

を備えた保険契約管理システム。」